

# 将来を厳ぐチェック!

3月定例会(3月12日開会) 町から諮問2件・議案22件、議会から報告1件  
(数値については表記単位未満を四捨五入しています)

# かけがえのない我が熊野町の

## 気になる4件をピックアップ

### ピックアップ①

#### 人権擁護委員の推薦を適任と判断(諮問)

- 片川 光氏
  - 東 都茂江氏
- ※任期は、令和元年7月1日～令和4年6月30日

#### 「使用料等の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例」を可決

全庁的な使用料等の見直し実施に伴い、「熊野団地防災センターの設置及び管理等に関する条例」ほか11条例に規定する使用料等を改正するための条例を可決

### ピックアップ②

- 使用料等の設定に当たって
    - ・ 実際に行政サービスにかかるコストを算出し、統一的な基準により、利用者に適切な負担を求め、負担の公平性を図る。
  - 使用料
    - ・ 29施設、125項目中、増額116項目、据え置き6項目、削除3項目
  - 手数料
    - ・ 57項目中、増額1項目、据え置き56項目
- ※令和元年10月1日の施設使用等から適用



### ピックアップ③

#### 「熊野町印鑑条例の一部を改正する条例」を可決

平成31年3月25日に開始した、住民票等のコンビニ交付に関し、個人番号カードを利用して店舗内の端末機で「印鑑登録証明書」の申請及び受取りを可能とするための条例を可決

### ピックアップ④

#### 平成30年度一般会計補正予算(第5号)

歳入・歳出とも17億2526万円の減額  
総額104億1190万円に

#### 【主な内容】

- (歳入)
  - 災害関連事業等の事業執行見込みによる国庫支出金や県支出金、町債の減額
  - 災害関連事業に係る特別交付税は増額
- (歳出)
  - 総務部門(2億5229万円減)：災害予防及び応急対策事業の防災行政無線デジタル化事業の継続費変更等
  - 民生部門(5億3005万円減)：事業執行見込みによる災害廃棄物処理事業、災害救助事業経費等
  - 建設部門(8億8556万円減)：事業執行見込みによる農地及び農業用施設災害復旧事業、急傾斜地崩壊対策事業経費等
  - 教育部門(5736万円減)：事業執行見込みによる災害救助事業経費等

### 主な質疑

#### ピックアップ②

Q. 公共の福祉を考えれば、簡単に増額するのが良いのかという議論も必要だが、見直しにより増額となる使用料等をどう利用していくのか。

A. 平成29年度の実績で考えれば、約530万円の増額となる。一般財源として、施設の管理運営等に充当していく。

Q. 利用団体によっては、年間の使用料を計画的に積み立てるなど、年度当初に徴収計画を立てているところもあると思うが10月からの改正だと年度途中に会費の増額をしなければならぬといった問題が発生すると思うが。

A. 10月1日に消費税、地方消費税が増税されることに合わせて、10月1日の改正としている。利用者に混乱が起きないように広報等で周知し、理解を得るよう努める。

Q. 公共施設を利用するにあたっては、減免措置を講じることがあると思うが、減免措置に変更はないのか。減免にも踏み込んでどうかと考えるが。

A. 今回の改正は、減免措置は対象外。

#### ピックアップ④

Q. 今回のような17億円余りの大規模な補正では、全員協議会等で事前の説明が必要だと思うが。

A. 極めて大きな額と認識している。今後は全員協議会等で説明するなど対応したい。

Q. 多額のマイナス補正だが、災害に関する繰越事業、規模を縮小した事業などの説明を。

A. 約17億円の減額のうち、豪雨災害の関係で約10億円を減額する。災害救助費やインフラ、土砂撤去などの災害復旧・復興に伴う予算について、最大値で計上していたが、事業の進捗に伴う不用額等について整理した。

この10億円のほかに、防災行政無線のデジタル化事業については、事業期間を繰り延べたことに伴い、約2億3000万円減額する。

Q. 農地の復旧事業が4億6000万円減額となっているが、予算が厳しく対応ができないという答弁と矛盾しないか。

A. 農地の減額については、4月以降に発注せざるを得ないものなど、平成31年度予算に組み替えたものが大半である。

Q. 3月までに予定していた土木、農林に関する事業は何%程度実行できたのか。

A. 農地は発注したばかりで、完了したものは数%。道路、河川については概ね100%。

Q. 児童クラブ支援員の確保が難しいと聞いているが、支援員報酬が減額となっているのは、当初の見込みより支援員が確保できなかったからか。

A. 5年生まで対象学年を拡大したことに伴い、夏休みのクラスを増やしていたが、実際は常時クラスを増設することがなかったことによる減額である。